

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 3 日作成)

委員会名	建築生産小委員会	主 査 名：古阪秀三
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名：嘉納成男
設 置 期 間	2003 年 4 月 ～ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建築生産史、建築産業、工事計画、生産性、構工法選択等について、海外各国との国際比較などを通じて、設計と施工のあり方について調査研究を行い、より効率的な建築生産のあり方を探ると共に、広く建築生産に関する発表の場を設け、研究者間の交流促進を図ることを目的とする。	
委員構成 (委員名 (所属))	(主査) 古阪 秀三, (幹事) 齋藤 隆司, 安藤 正雄, 石堂 修次, 岩下 智, 浦江 真人, 江口 禎, 遠藤 和義, 大内 仁, 嘉納 成男, 土橋 稔美, 永易 修, 山崎 雄介, 湯浅 洋一, 吉島 勇一	
設置 WG (WG 名: 目的)	ストック型建築生産WG	
2004 年度予算	70,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004/04/04 8名 2004/07/22/ 12名 2004/12/12 6名 2004/05/09 6名 2004/09/19 6名 2005/01/16 5名 2004/06/07 7名 2004/11/18 6名 2005/03/14 10名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)
	<p>①建築生産シンポジウム： 建築生産分野の研究の発展と、建築生産に関する広範囲の分野の研究者・実務者の交流の場を提供することを目的とする。</p> <p>②建築生産パネルディスカッション： 建築生産シンポジウムで発表された論文のうち、特に優れた研究について、その研究の成果を発表する場とする。</p> <p>③建築生産セミナー： P F I 等建築生産をめぐる新規分野に関する建築生産セミナーを開催</p>
目標の達成度	委員会 HP アドレス：  (当初の活動計画と得られた成果との関係) 将来のゼネコンのあり方について、研究してきたが、概ね、ゼネコンのこれまで果たしてきた役割、今後の課題、そして取り組むべき方向性を見出すことができた。これらの成果については、研究発表会を通じて公表している。

その他評価すべき 事項	
----------------	--